

■マイバッグを持っていく

いま、レジ袋がホットな話題になっています。レジ袋というとまず思い浮かべるのは、スーパーやコンビニの袋です。しかし、まだまだあります。本屋、ブティック、薬局、レコード店、海外からのお土産の入った袋等々。赤や黄色、緑に茶色、花柄あり大胆な柄あり、文字色もさまざまです。これらの袋には、着色料として有機塩素系顔料が含まれているものや鉛やクロムが入っている素材もあるそうです。ごみ袋として使えば重宝だからと二次使用している消費者も多いようですが、焼却すると有害な物質が出る恐れがあるものもあり、私たち自らの行為が自らの健康被害を招くことにもなりかねません。

海外旅行をした方々からよく聞く話ですが、外国で買い物をしたら袋をもらえなくて、あわててスカーフを使ったり、大判のハンカチを使ったとか。海外ではともかく国内では店がレジ袋を無料で出すからもらうと多くの方が言います。国内のレジ袋の年間使用量は、約 30 万トン、枚数にして約 313 億枚といわれています。製造にコストをかけ資源を使い、廃棄時にもコストをかけ環境に負荷をかけています。

今年の「環境にやさしい買い物キャンペーン」月間内の 10 月 5 日は「レジ袋 NO デー」です。グリーンコンシューマー東京ネットでは、「レジ袋 NO デー」の PR を兼ねて消費者の意識と行動調査を行います。消費者自らの取り組みが必要と世界各国でグリーンコンシューマー活動が注目されています。消費者自らが「レジ袋 NO(いりません)」といきましょう。レジ袋を少しでも減らすためにはマイバッグを持って歩けばいいのです。自宅にあるレジ袋を小さくたたんで持てば、何度も使えます。女性だけでなく、男性だって背広のポケットに 1 枚たたんで入れればかさばりません。また、自分で作ったり、買ったりしたお気に入りバッグを持ち歩きましょう。風呂敷も見直されているようです。